

令和4年度 鳥獣管理士養成講座 (栃木県)

# 鳥獣管理学演習

- ①「なぜ集落内に野生動物が侵入するのか？ 集落環境診断と痕跡調査」
- ②「侵入防止柵の失敗例から学ぶ効果的な侵入防止柵の設置方法」

鳥獣管理学演習は、オンライン講座だけでは理解しにくい現場での鳥獣問題を、実地で体験的に学習するためのプログラムです。鳥獣問題の解決には、専門的な知識や技術はもちろん、地域の人にやる気を起こさせることや地域の人とのコミュニケーションをとることが重要です。

資格の取得後、自信を持って活動を始められる現場経験を積み、地域の人と共に考え、行動する鳥獣管理手法を学ぶことを目指します。

「被害現場に行ったことが無い」、「取得した資格を現場で活かしたい」など、現場での経験を積みたい鳥獣管理士またはCPD登録会員が主な募集対象です。

## 【①開催日】令和4年10月8日(土)

野生動物による農作物被害はなぜ起こるのか。実際に現場を歩き自分の五感を使って調査を行い、野生動物がなぜ被害をもたらすのかを考察します。また、野生動物調査で使用するセンサーカメラの基本的な使い方も学びます。

## 【②開催日】令和4年10月9日(日)

侵入防止柵は、対象動物や設置場所、目的などにより適切に選択・設置しなければその効果は半減してしまうだけでなく、侵入を試みる個体を増加させる結果になります。実際に柵の設置状況を確認しながら問題点を探し、改善点を考察します。

【会場】栃木県栃木市都賀町大柿地区 (大柿コミュニティセンターとその周辺耕作地等)

【集合場所】栃木市大柿コミュニティセンター (栃木県栃木市都賀町大柿1122)

【定員】各20名 (実施人員数が各10名に満たない場合は中止する場合があります)

【参加費】5,000円/日 (2日間参加の場合は10,000円となります)

【予定講師】阪本勝憲 (鳥獣管理士準1級) 他

【対象】鳥獣管理士、CPD登録会員、その他鳥獣問題の解決に取り組む意欲のある方

【CPD】5単位 (2日間参加の場合は10単位になります)

【スケジュール】9時15分 受付開始

9:30 コミセンにて演習内容の説明、関連知識の座学

11:30 昼休憩

12:30 フィールドでの現地演習

15:30 コミセンに戻り、総括や質疑応答

16:00 解散予定

【持ち物等】筆記用具・昼食・飲み物・動きやすい服装・雨天の場合の雨具

【申込方法】一般社団法人鳥獣管理技術協会の公式ホームページより

(<https://jwms-japan.com/>) お申し込みください

【締切】令和4年9月20日(火) \* 先着順で定員になり次第締め切ります

※現地集合、現地解散でお願いします (難しい場合は事務局までご相談ください)

※①と②どちらかみの参加も可能ですが、両方の受講をお勧めします

※コロナ感染対策 (マスク、起床時の検温) をお願いいたします

※雨天でも原則実施しますが、台風などの悪天候の場合は中止にする場合があります



【問い合わせ先】一般社団法人鳥獣管理技術協会 事務局

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学内 Eメール: jimuj@jwms-japan.com

TEL: 050-3173-2555

FAX: 050-3173-2556